

【報告事項】

令和2年度事業計画及び収支予算について

【基本方針】

(1) コロナウィルス感染への対応

中国から拡散したコロナウィルスの感染により、グローバルなサプライチェーンの機能が失われたばかりでなく、4月に発令された緊急事態宣言により国内の経済活動そのものが長期間に渡り停止してしまいました。このことにより、ほとんどの企業が甚大な損失を受けてしまいました。

今年度は、会員企業の復活に向けた活動を最重要課題として取り組んでいきたいと考えます。

(2) 放射光施設の活用

昨年度に引き続き、光科学イノベーションセンターの協力をいただき、放射光施設の理解と活用に向けた活動に取り組めます。

また放射光施設に関連する機器や部品等の製作、それらの設置や施工工事に関する勉強会にも積極的に関わっていききたいと思えます。

(3) 産学連携

東北大学工学部の各研究室が求めるニーズと、会員企業がもつ技術とのマッチングに取り組むたいと思えます。2年前に開催した東北大学未来科学技術共同研究センターとのビジネスマッチ交流会での経験をベースに、大学ニーズの掘り下げに取り組むたいと思えます。

また大学発ベンチャー企業とのビジネスマッチングについても、東北大学事業イノベーションセンターの協力を頂きながら取り組んで参りたいと思えます。

(4) 人材確保

技能五輪全国大会の宮城県開催を目指した活動を継続します。特にものづくり以外の業界団体へ活動の趣旨を説明し、広く賛同していただきたいと思えます。

新卒の工業系人材の採用促進については昨年に引き続き、ものづくり人材コーディネーター設置事業において学校や家庭に地元企業を知ってもらう活動を継続します。

(5) 財政基盤

昨年度はコロナウィルスの感染拡大が経済活動に大きな影響を与えたこともあり、会員が減少する可能性が高まっています。その一方で、起業する会社や大学発のベンチャー企業が増えていることから、新たにスタートアップ会員区分を設け、新入会員の加入促進に取り組むたいと思えます。

【委員会活動】

(1) 政策委員会

コロナウイルス感染による企業の経営状況を把握するとともに、行政に対して必要な措置を要望してまいります。

大学発ベンチャー企業との連携、東北大学工学部とのビジネスマッチングを促進し、ビジネスチャンスの創出に取り組みたいと思います。

また技能五輪の招致について、ものづくり以外の団体や企業、学校などとの連携を深めていきたいと思います。

(2) 総務委員会

定時総会に上程する案件について妥当性の確認をおこない、適切な内容となるよう修正していきます。

また組織運営の状況について委員会で確認するとともに、意見交換をおこなってまいります。

(3) 交流推進委員会

コロナ感染の影響により会員相互の交流イベントは限定されるものと思われませんが、できるだけ多くの会員が参加できるような企画を検討していきたいと思います。

(4) 技術交流委員会

東北放射光施設の活用に向け、事例紹介セミナーなどを検討します。また東北大学工学部とのビジネスマッチングでは、技術面からニーズの掘り下げについて検討します。

また県内、県外企業見学会では、会員企業の状況をみながら適切な見学先の選定を行いたいと思います。

(5) 情報委員会

コロナウイルス感染防止による活動の停滞を念頭に、機関誌のコンテンツを検討します。コロナウイルス感染による事業への影響など、今後の災害の際に参考になるような企画を検討したいと思います。

(6) 経営基盤委員会

コロナウイルス感染が事業に及ぼした影響について、各社の事例やアンケート結果などを参考にレビューしたいと思います。

また共通する課題については、工業会としての取り組みについて検討したいと思います。

【受託事業】

(1) みやぎ優れ MONO 発信事業

13 回目となるみやぎ優れ MONO 認定品候補の発掘に取り組むとともに、認定に向けて企業を支援していきます。

また既にみやぎ優れ MONO に認定された企業に対して、認定製品の販路拡大に向けた各種支援を行ってまいります。

(2) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

2019 年で終了する第 1 期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に続き、第 2 期が 2020 年から始まります。これまでのプロフェッショナル人材紹介事業の他に大企業が導入する副業や兼業を活用した「雇用しない社外プロフェッショナル人材」を活用支援する計画です。

【補助事業】

(1) ものづくり企業コーディネーター設置事業

昨年度の活動で得られた分析結果をもとに、学校におけるキャリア教育の充実を働きかけます。また新卒だけでなく、早期離職した若者が地域に就職できるよう、地元企業に対して若手人材受入体制の整備などを働きかけてまいります。